



総合腫瘍科

【診療科部長メッセージ】

総合腫瘍科は腫瘍内科部門(化学療法部)に属し、頭頸部腫瘍、泌尿器腫瘍、肉腫、原発不明がんなどの領域のがん薬物治療を、各臓器の外科医や放射線科医と共同してチーム診療で行うとともに、種々の診療科と共同しながら未承認薬の医師主導治験や早期探索的臨床試験、いわゆる All-comer の第1相試験を積極的に推進しており、第1相試験の数は年々増加しています。

また、がん研究会有明病院は2015年2月に「国家戦略特区における保険外併用療法の特例」の対象医療機関として選定され、新規薬剤の開発を行う人材がさらに求められています。

このため、総合腫瘍科の強化を図るために医師の増員を行うことと致しました。

総合腫瘍科のスタッフとして診療、教育に従事し、頭頸部、肉腫などの希少がんの薬物療法を進めると共に、抗悪性腫瘍薬の早期開発を推進して日本のがん薬物療法の発展に寄与する意欲を持つ方を公募致します。

総合腫瘍科 部長 高橋 俊二